

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		~ R7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		~ R7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内に児童が過ごす居室が分かれているため、気持ちを落ち着かせるなど気持ちの避難場所がある。	・クールダウンの場所を確保し、一人になれる空間やリラックステキな空間づくりを行っている。 ・個々に応じた環境調整を意識して行う。	・児童がどの空間にいても安全・安心に過ごせるよう職員の配置を行う。
2	・SDG2の取り組みにおいて地域住民との繋がりから触れ合う機会を設けることができる。	・地域住民の方への廃品回収のご案内や日頃の挨拶を心がける。また、災害時には情報を共有し助け合いが出来るよう交流している。	地域住民の方や同じ地区で運営されている事業所との繋がりを持つために、家族会の茶話会への参加や自治会への協力の要請・地域の奉仕作業などの参加。
3	・茶話会の実施やBAND・広報誌で活動の様子を紹介できている。 ・年に一度の親子行事を行い家族間の交流を持つ機会を設けている。	・利用の様子を詳しく、伝えるよう心がけている。また、日々の活動が伝わりやすいように写真や文字を用いて発信している。 ・テーマを設定した茶話会の実施。 ・年に一度、保護者様の参加しやすい年末に日程を設定している。	・保護者のニーズに合わせた交流の場の設定。参加しやすいテーマ設定や環境設定。 ・保護者の意見を取り入れた行事の設定。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員が全員そろってミーティングしたり振り返りの時間を確保することが難しいため情報の共有がしづらく、必要な情報が後になってしまうことがある	・雇用形態の関係で参加が難しいため全職員が顔を揃えて参加することが出来ない	・現在、情報共有や日々の活動に関してコミュニケーションアプリを使用している。今後もアプリの活用をタイムリーに行う。
2	職員や保護者対しマニュアルなどの周知徹底ができていない	・一部マニュアルの周知のために茶話会の時間を設け案内は行ったが全ての保護者の目に触れることが無かったため周知の方法を新たに検討する必要がある。	・職員に対して、年1回周知する機会を事業所の中で設定。保護者に関しては、BAND等やホームページなどを活用し発信する。
3			